

東京都立水元小合学園

令和6年12月25日(通算121号)

東京都立水元小合学園 校長 米谷 一雄

SNS

随時更新中



年の瀬

校長 米谷 一雄

気が付けば、令和6年も残すところ1週間となりました。例年同様に、12月に入ってから、1年を象徴する流行語や漢字、そして、ニュースが報道され、自分自身でも振り返るきっかけとなっています。先行き不透明と言われる時代ではありますが、未来を切り拓くのは、日々の積み重ねに他なりません。今、この時を大切にしながら、一人一人が思いを行動に変えて行くことで、その先にある夢や希望の実現に結びつくものと信じています。一年の計は元旦にあり、年末から年始にかけては、これからのことを考える良い機会だと思います。

【メタ認知】

メタ認知とは「自分自身の認知(考える・感じる・記憶する・判断する等)をもう一人の自分が冷静に客観視できる能力」のことです。この能力によって自分が行っていることが正しいのか、また間違っているのであればどのように修正すればよいのかを判断することができるようになります。メタ認知を高めていくと、自分の長所や短所がわかったり、感情をコントロールすることができるようになっていったりするとも言われています。円滑なコミュニケーションや主体的な行動に結びつきます。自分の気持ちをポジティブにしてくれるとらえ方を意識的に選択する習慣をつければ、穏やかな心地よい状態で過ごしやすくなります。

1年を振り返って

就業技術科副校長 荒金 普玄

早いもので令和6年も残りわずか【力強い龍のような、エネルギッシュな一年】が幕を閉じようとしています。10周年記念式典、1年生日光方面への移動教室、2年生大阪方面への修学旅行など、感染症対策、熱中症対策を確実に実施し予定していた行事すべて安全に実施することができました。「東京理科大学、水元スポーツセンターにおいて、ビルメンテナンスコースの生徒のべ40名による建物清掃」、「ふれあいフェスタ2024、葛飾パラスポーツフェスタでは、30名の生徒によるボランティア活動」、「特別養護老人ホーム水元ふれあいの家、2年生20名の生徒による楽器演奏・合唱による音楽活動」など、本校が10年間で積み上げてきたものを【進化】させた形で地域に貢献できた1年でした。来年は巳年、本校がこれまで積み上げてきた学習活動をさらに【深化】させ、生徒達の目標が巳(実)を結ぶこと【真価】が発揮できるように、教職員一丸となって、教育活動をすすめていきます。

肢体不自由教育部門

第7回 学習発表会

学習発表会担当 池田 晋一

12月5日から3日間、肢体不自由教育部門の学習発表会が開催されました。おかげさまで、今年で7回目を迎え、連日とも盛況のうちに終えることができました。過去に感染症が流行した時期には保護者の入場数制限を設けるなど、感染予防に慎重な対応を図ってまいりましたが、今年は、たくさんのご家族に参観いただけるように保護者入場者数の制限を無くしました。それにより、より多くのご家族の皆様、子供たちの日頃の学習や練習の成果を、直に観ていただける最良の機会となりました。子供たちにとっても大きな自信と励みとなり、学校生活の中でも楽しい思い出になったことと思います。

舞台発表では、どの学習グループも創意工夫に満ちており、背景のスクリーンに映し出される動画演出も質の高いものが多く、子供たちの個性を存分に引き出された素晴らしい発表に仕上がっていました。

作品展示も、例年以上に完成度の高い作品が多く並びました。参観された方々は、一つ一つの作品の前で足を止め、じっくりと鑑賞されていました。

就業技術科

総合文化祭

総合文化祭担当 斎藤 素子

音楽部は11月20日、国立青少年オリンピックセンターにて総合文化祭に参加させていただきました。1年生から3年生の混合3チームで3曲演奏しました。「カントリー・ロード」「ええねん」「side by side」という曲目です。「カントリー・ロード」はボーカルの美しさを披露し、「ええねん」では音楽部のチーム力を発揮し「Side by side」ではちょっと背伸びした大人の雰囲気挑戦しました。8月からの取り組みで、音楽部全員、汗を流して登校し入念なパート練習を繰り返してのバンド活動でした。9月からは学年それぞれの行事がありながらも、全員が時間を工夫して練習した結果、全員が自信をもって総合文化祭のステージで個性を発揮して演奏することができました。たくさんパートがあるため日常の練習では、いろいろな教室をお借りして活動をしています。ありがとうございます。来年2月には他校との交流会も計画しています。3年生は卒業に向けて、2年生、1年生は新しい学年に向けてこれからも頑張っていきます。応援よろしく申し上げます。